

令和元年度 静岡大成高等学校 自己評価率比較表

評価項目	自己評価率					
	前期		後期		平均	
	A	B	A	B	A	B
<b>1 人権尊重の立場に立った教育の実践</b>						
① 一人一人の存在や思いが大切にされる環境づくり	44%	50%	47%	47%	45%	48%
② 安心して過ごせる学校・教室づくり、いじめ防止の徹底	50%	41%	59%	31%	55%	36%
<b>2 「わかる授業」「楽しい授業」「身につく授業」の実践</b>						
① 基礎・基本的学習内容の定着を意識し、「わかる授業」「楽しい授業」「身につく授業」の工夫を図る	44%	44%	50%	41%	47%	42%
② 多様な生徒に対応するために自己研鑽に励み、指導法の改善をし、学習支援や満足度の高い進路支援に繋げる	44%	44%	47%	41%	45%	42%
③ ALやICT機器、その他の教材を活用し、主体的、対話的で深い学びに繋がる21世紀型授業に積極的に取り組む	34%	31%	41%	31%	38%	31%
④ 教科・学年間の連絡を密にとり、教務内規に従った業務を遂行する	53%	34%	63%	28%	58%	31%
⑤ 2Pノートや各教科の課題の出し方を工夫し、家庭学習の習慣化を図る	34%	41%	31%	50%	33%	45%
⑥ 朝読書・マナトレ・小論文の充実した取り組みを進める	25%	47%	25%	53%	25%	50%
<b>3 生徒理解を基盤としたきめ細やかな生徒指導の実践</b>						
① 基本的な生活習慣及び規律ある生活態度(挨拶の励行、時間厳守、身なりの端正化)を養う	31%	56%	56%	34%	44%	45%
② 交通安全を心掛け、登下校時のマナーや事故防止を徹底させる	44%	44%	47%	44%	45%	44%
③ 授業規律を整え落ち着いた、はじめある学びの環境を作る	50%	38%	56%	34%	53%	36%
④ SNSやLINEなどを利用した情報伝達方法のマナー指導の徹底	28%	44%	34%	44%	31%	44%
⑤ 行事・部活動・ボランティア活動などに積極的に参加させ、主体性を養い、多様性を受け止め、協調性やコミュニケーション力豊かな生徒を育てる	44%	47%	59%	34%	52%	41%
<b>4 きめ細かな進路指導の実践</b>						
① 第一学年は生涯計画やキャリア教育のもと、社会の変化に応じた幅広い進路を意識させ、適性や希望が最大限生かせる進路実現に向けて計画的な取り組みを促す	38%	31%	38%	31%	38%	31%
② 第二学年は外部の進路説明会やオープンキャンパス、企業説明会等への積極的な参加を促し、進路目標を明確化させ、その実現に向けた指導をする	31%	25%	38%	22%	34%	23%
③ 第三学年は目標達成のため、最大限の能力を発揮させ、進路実現・自己実現を図る	25%	31%	41%	22%	33%	27%
④ ポートフォリオの充実や「大学入学共通テスト」などに必要な資格取得に向けた計画的な検定受験への取り組み	28%	34%	25%	41%	27%	38%
⑤ 多面的・総合的な学習の下で評価される新たな「共通テスト」の導入に向け、教育内容や入学試験制度を生徒・教員に周知徹底させる	16%	47%	22%	41%	19%	44%
<b>5 時代の進展に対応した教育内容の実践</b>						
① 校内外の研修会・研究授業等に意欲的に取り組み、ICT機器やデジタル教材を積極的に利用した新しい時代の教育を目指す	23%	46%	22%	56%	22%	51%
② 社会変化に伴う教育の変化を受け止め、新たな学習課題に向けての検討を教科内で進める	23%	54%	22%	53%	22%	53%
③ 国際理解教育を進めるため、あらゆる教育活動の中において、グローバルな視点に立って物考える生徒の育成に努める	8%	46%	25%	34%	16%	40%
<b>6 家庭・地域に信頼される開かれた学校づくりへの取り組み</b>						
① HPやきずなネットなどを利用し、家庭と学校をつなぐ情報を積極的かつ効果的に配信し、本校への理解を深める	34%	47%	38%	41%	36%	44%
② PTA行事・地域交流・学習会などに参加し、保護者や地域の人々の本校理解に繋げる	31%	50%	38%	50%	34%	50%
<b>7 安心安全な教育環境の整備と安全教育の充実</b>						
① 施設設備や防災器具の定期的な点検を実施し、安心して過ごせる環境作りに励む	44%	50%	50%	47%	47%	48%
② 地震や災害時を含めた危機対応の体制を理解し、効果的な訓練を通し、安心安全を高める	47%	41%	56%	41%	52%	41%
<b>8 働き方改革の趣旨を理解し、教育力の充実・向上を目指す</b>						
① 勤務時間を意識し、短い時間で教育の目標を達成し、成果を上げる取り組みを進める	47%	34%	50%	31%	48%	38%